公益社団法人　日本建築積算協会

２０２５年度「建築コスト管理士」試験案内

「建築コスト管理士」とは、企画・構想から維持・保全、解体にいたる建築のライフサイクル全般に渡って、コストマネジメント業務に関する高度な専門知識及び技術を有する専門家です。
英国王立チャータード・サベイヤーズ協会（ＲＩＣＳ）会員にダイレクトエントリーし、国際的に活躍している「Chartered　Quantity　Surveyor (QS)」称号取得が可能な資格です。
なお、建築コスト管理士資格登録には、当協会個人正会員であることが条件となります。

① **受験資格**：**試験は、次のいずれか一方に該当する方であれば、受験することができます。**

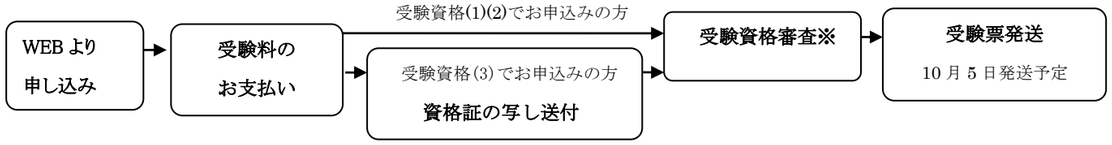
（１）建築積算士の称号を取得後、更新登録を１回以上行った方（Web 申込時、建築積算士番号記入）

（２）建築関連業務(※)を５年以上経験した方（Web 申込時、建築関連業務履歴記入）

（３）一級建築士に合格し登録した方

※建築関連業務には、建築士法で定められた、大学院修了課程の期間を算入することができます。詳しくは、当協会ホームページ記載の「建築コスト管理士認定規程第 14 条」をご確認ください。

② **受験申込**



※　受験資格審査は、受験申込が完了した受験申込者を受験資格に該当するか否か審査します。
修正が必要な方には、9 月 20 日～30 日の間にご連絡します。

③　**インターネットによる受験申込期間**：2025 年 6 月 2 日(月)から 9 月 5 日(金)まで

※受験料払込期日は、お申し込み後別途連絡いたします。

④　**受験手数料**：29,700 円（消費税込み）
※過去 2 カ年度学科試験に合格され短文試験のみの受験手数料は 16,500 円（消費税込）となります。

⑤　**試 験 地**：札幌/仙台/東京/名古屋/大阪/広島/福岡/鹿児島/沖縄（全国 9 都市 9 会場）

⑥　**試験日時**：2025 年 10 月 26 日（日）　学科試験　12:50～15:20（2 時間 30 分）
短文記述試験　15:40～17:40（2 時間）

⑦　**合格者発表**：2025 年 12 月 15 日（月）10 時頃に当協会ホームページにて合格者受験番号を公開します。

⑧　**資格登録手続**：合格発表後に合格者へ合格通知書と共に郵送する登録関連書類に必要事項を記入して翌年 1 月 15 日（木）までに登録申請して下さい。なお、建築コスト管理士は当協会個人正会員であることが資格登録条件となりますので、会員でない方については、同時に個人正会員入会申込みが必要となります。（入会金 2,000 円、年会費 9,000 円を月割り）

⑨　**登録手数料**：15,400 円（消費税込）

【他銀行およびネットバンキングで受験料を支払う場合の振込み先】※受験者名でお振込みください。
受験手数料払込先：ゆうちょ銀行　〇一九店（ゼロイチキュウ店）
当座／口座番号 0500957　口座名義／公益社団法人　日本建築積算協会

【建築コスト管理士として求められる知識の具体例】

☆ 原則として建築積算士に求められる知識を包含する ☆
- ✓ コスト情報収集・分析：商取引の基礎知識、コスト情報の入手方法、コスト情報の分析手法、コストに影響を与える諸要因
- ✓ 広範囲な市場価格：経済の現況、建設産業の現況と需給バランス、建物市場価格（マクロ）、建築構成材市場価格（ミクロ）、メーカー・専門工事会社見積価格と取引価格、不動産市況と取引実態
- ✓ 発注戦略：工事発注与条件の策定、契約文書と付帯条件、コストオン協定書と共益費、競争環境の醸成、入札手続きと評価
- ✓ 調達戦略：元請・下請階層関係、下請業種（メーカー・専門工事会社）、発注パッケージ
- ✓ フィジビリティースタディー：事業収支計画の概要、事業収支に影響を与える要因、建設工事費キャッシュフローと金利
- ✓ 概算技法：状況に応じた概算技法、コストデータの活用法、コストアロケーションとコストコントロール技法
- ✓ 施工技術・工期算定：特殊構工法、新技術、改修工事の特徴、解体工法、工期算定方法の概要、共通費（共通仮設、現場管理費、一般管理費）算定方法の概要
- ✓ ＬＣＣ・ＶＥ及びＦＭ・ＰＭ・ＣＭ・ＰＦＩの概要：ＬＣＣ（ライフサイクルコスト）の内容と算定方法、ＶＥ（バリューエンジニアリング）の内容と技法、ＦＭ（ファシリティーマネジメント）の概要、ＰＭ（プロジェクトマネジメント）の概要、ＣＭ（コンストラクションマネジメント）の概要、ＰＦＩ（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の概要
- ✓ 環境配慮：社会的側面と法的側面、環境対応技術のトレンド、環境配慮とコスト
- ✓ 建築関連法規：建築基準法関連の基礎、コストに影響を及ぼす法規の概要
- ✓ ＩＴ活用：情報技術のトレンド、ＩＴ機器操作・ソフト活用

【試験方法と出題範囲】

◇学科試験◇
・試験時間・・・2 時間 30 分
・出題範囲・・・新☆建築コスト管理士ガイドブック第 1 章～第 4 章、新☆建築積算士ガイドブックのうち第 6 章～第 8 章、第 10 章を対象とする。
・問題数・・・・60 問　　・問題形式・・・4 肢択一

◇短文記述試験◇
・試験時間・・・2 時間
・出題範囲・・・新☆建築コスト管理士ガイドブック第 1 章～第 4 章、新☆建築積算士ガイドブックのうち第 6 章～第 8 章、第 10 章を対象とする。
・問題数・・・・5 問　　・問題形式・・・問題に対する解答を短文（200 字以内）で記述。

【学科試験免除要件】
過去年度の学科試験の合格基準点をこえた超えた方は、次年度以降 2 年間学科試験を免除します。
なお、学科試験免除希望の場合は、申込フォームにその旨を入力してください。

【受験特別措置】身体に障がいがあるため、受験に際し、特別な措置(座席の配置、試験時間の延長等)を希望される方は、受験申込時に、当協会 本部事務局にお問い合わせください。
この受験特別措置申込期限は、8 月 8 日(金)までです。
（なお、障がいの程度、試験場の都合により希望する措置を受けられない場合があることをご了承ください。）　※妊娠時の配慮等を希望する場合も同様です。

【参考図書】　『新☆建築コスト管理士ガイドブック 2023 年 4 月 1 日改訂 3 版(税込 5,300 円)』
『新☆建築積算士ガイドブック 2024 年 4 月 1 日第改訂新版(税込 5,500 円)』以降の出版
※　図書購入お申し込みは、当協会ホームページ、または Amazon で。
※　両ガイドブックを同時購入の場合、割引あり

【注意事項】
１．一旦納付された受験手数料は、当協会の責により試験を受けることができなかった場合を除き、返還されません。
２．当協会ホームページに前年度までの問題と解説を公開しておりますのでご参考にしてください。
なお、「新☆建築コスト管理士ガイドブック」は、内容を大幅に改訂していますので、過去の問題と解答には十分にご注意ください。
また各支部にて両ガイドブックについての講習会が開講される予定ですのでどうぞご活用ください。
３．試験会場では、スマートフォン、携帯電話の類は使用禁止ですので、試験時間中は事前に配布する袋に入れ机上に置いていただきます。それ以外の当該機器が発見された場合には受験できなくなりますのでご注意ください。
４．解答用紙への記入は HB 以上の鉛筆、またはシャープペンシルをご使用ください。（解答用紙以外は色鉛筆およびマーカーペンの使用可能です。）

※試験採点の際には、学科試験および短文記述試験においてそれぞれの合格最低点が決められていますので、ご留意ください。

試験に関するお問い合わせ
公益社団法人 日本建築積算協会 本部事務局
〒105-0014　東京都港区芝 3-16-12 サンライズ三田ビル３階
Tel 03-3453-9591　Fax 03-3453-9597　e-mail hp@bsij.or.jp